

悪質な異物混入により、火事が発生しました！

令和5年7月4日（火）の午前、富良野市リサイクルセンター内の固形燃料ごみ処理施設において火災が発生しました。

早期に発見したため大事には至りませんでした。発見が少し遅ければ固形燃料ごみ処理施設が数ヶ月停止する可能性があります。

今回における火事原因は「電子タバコ」の本体です。

電子タバコの内部には「リチウム電池」が内蔵しており、リチウム電池がごみ処理設備により衝撃が加わったことで異常発熱が生じて火災に至りました。

※火事発見時の様子※



また、原因となった電子タバコ（小型電気製品ごみ）は、ごみ収集時の点検を免れようとガムテープで全体を隠していたことも判明しました。

※火事原因の電子タバコ（左はガムテープ）※



悪質な異物混入による事故が発生したことは非常に残念であり、皆様の生活を支えるライフラインである「ごみ処理」を安定して稼働させるためにはひとり一人の協力が不可欠です。

「少しぐらい・・・」と思わずに、正しい分別排出にご協力をお願いします。

令和5年7月 富良野市リサイクルセンター